

2020年11月24日
一般財団法人日本規格協会

産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS案作成規程に基づき、当該 JIS案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS案の作成開始要件”を満たすことの前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、別添 1 の JIS案作成対象テーマについて、改正する理由（必要性）及び期待効果、JIS案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS作成予定一覧表として JSA ホームページに掲載いたします。

産業標準案作成対象テーマ一覧(改正)

2020年11月24日
一般財団法人日本規格協会

認定機関	産業標準作成委員会	制定/改正/廃止	規格番号	JIS案の名称	JIS案の英文名称	改正する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	07 情報	改正	X3001-1	プログラム言語Fortran ー 第1部: 基底言語	Programming languages - Fortran - Part 1: Base language	【制定・改正する理由(必要性)】 この規格は、Fortran基底言語で表現するプログラムの形及びその解釈について規定している。Fortranは、パソコンからスーパーコンピュータまでの様々な計算機で、科学技術計算などのプログラム開発に使われる利用者インターフェースである。この規格に対応する国際規格はISO/IEC 1539-1であり、2018年11月に最新の改訂が行われ、並列計算、精度保証、例外処理、他言語との相互操作性などの性能・品質・利便性に関わる新しい機能が多く追加された。こうしたことから、対応国際規格との乖離を解消し、利用者の利便性向上を図るため、JISを改正する必要がある。	【期待効果】 この改正によって、国際競争力の高い製品(コンバイラ関連製品)の開発が容易になる。また、対応国際規格に対応した製品機能を正しく適切に利用できるようになるため、利用者の生産性の向上及び生産物の品質向上が期待できる。さらに、現行規格では定義されていない新しい用語・概念・表現が標準化され認知されるため、商談・取引及び技術交流が円滑になり、市場の活性化が期待できる。	主な改正点は、次のとおり。 ・利用者が複数のimageを同時に実行する並列プログラムを記述できるようにするため、プログラムのinstanceをimageと定義し、imageを跨いで利用できるデータ(coarray)に関する規定を追加する。 ・C言語プログラムとの相互の呼出しを容易にするための機能を規定する。 ・ISO/IEC/IEEE 60559:2011(浮動小数点算術演算の技術標準)に準拠するための機能拡張を規定する。 ・組込み手続及び組込みモジュール手続を追加する。		ISO/IEC 1539-1:2018, Information technology ー Programming languages ー Fortran ー Part 1: Base language	IDT	第2条の該当号: 第7号(電磁的記録の作成及び使用の方法) 対象事項: プログラム言語	法律の目的に適合している。	利点: ア、イ、ウ、エ、オ、キ、ク 欠点: いずれも該当しない。	ー	1. 国際標準をJIS化するなどの場合	一般社団法人情報処理学会のWG	2021年1月
JSA	07 情報	改正	X6230	情報の交換及び蓄積用のデジタル記録媒体ー120 mm単層(25ギガバイト/ディスク)及び2層(50ギガバイト/ディスク)BDレコーダブルディスク	Information technology ー Digitally recorded media for information interchange and storage ー 120 mm Single Layer (25,0 Gbytes per disk) and Dual Layer (50,0 Gbytes per disk) BD Recordable disk	【制定・改正する理由(必要性)】 この規格は、記録形BDディスクのうち、単層25GB及び2層50GBの追記形ディスクの機械的・物理的・光学的特性とともに、記録信号品質、データフォーマットと記録方法を規定したものであるが、Blu-ray Disc Association (BDA)において、4k/8k放送録画対応として記録形ディスクフォーマット仕様がアップデートされたため、対応国際規格の改訂作業がISO/IEC JTC 1/SC 23で進行中であり、2020年度第3四半期に発行予定である。このような状況から、対応国際規格との整合化を進めるとともに、技術の実態に即した内容にするため、JISを改正する必要がある。	【期待効果】 規格を改正することにより、既に始まっている4k/8k放送に対応したBDレコーダー・ディスクの普及拡大及び消費者保護に資することが期待できるとともに、日本発の技術である光ディスク分野における、日本企業の国際競争力強化につながることを期待できる。	主な改正点は、次のとおり。 ・4k/8k映像記録の著作権保護情報記録領域の規定を追加する。		ISO/IEC 30190:2016, Information technology ー Digitally recorded media for information interchange and storage ー 120 mm Single Layer (25,0 Gbytes per disk) and Dual Layer (50,0 Gbytes per disk) BD Recordable disk, Amendment 1:2019	IDT	第2条の該当号: 第1号、第4号(種類、形状、寸法、構造、品質、性能、試験方法) 対象事項: 120 mm単層(25ギガバイト/ディスク)及び2層(50ギガバイト/ディスク)BDレコーダブルディスク	法律の目的に適合している。	利点: ア、イ、ウ、オ、カ 欠点: いずれも該当しない。	2. 消費者保護の観点から必要な分野)	ー	一般財団法人光産業技術振興協会のWG	2021年1月

産業標準案作成対象テーマ一覧(改正)

2020年11月24日
一般財団法人日本規格協会

認定機関	産業標準作成委員会	制定/改正/廃止	規格番号	JIS案の名称	JIS案の英文名称	改正する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	07 情報	改正	X6231	情報の交換及び蓄積用のデジタル記録媒体—120 mm 3層片面(100ギガバイト/ディスク)、3層両面(200ギガバイト/ディスク)及び4層片面(128ギガバイト/ディスク)BDレコーダブルディスク	Information technology – Digitally recorded media for information interchange and storage – 120 mm Triple Layer (100.0 Gbytes single sided disk and 200.0 Gbytes double sided disk) and Quadruple Layer (128,0 Gbytes single sided disk) BD Recordable disk	【制定・改正する理由(必要性)】 この規格は、記録形BDディスクのうち、3層片面100GB及び3層両面200GBの追記形ディスクの機械的・物理的・光学的特性ととともに、記録信号品質、データフォーマットと記録方法を規定したものであるが、Blu-ray Disc Association (BDA)において、4k/8k放送録画対応として記録形ディスクフォーマット仕様がアップデートされたため、対応国際規格の改訂作業がISO/IEC JTC 1/SC 23で進行中であり、2020年度第3四半期に発行予定である。このような状況から、国際規格との整合化を進めるとともに、技術の実態に即した内容にするため、JISを改正する必要がある。	【期待効果】 規格を改正することにより、既に始まっている4k/8k放送に対応したBDレコーダー・ディスクの普及拡大及び消費者保護に資することが期待できるとともに、日本発の技術である光ディスク分野における日本企業の国際競争力の強化につながることを期待できる。	主な改正点は、次のとおり。 ・4k/8k映像記録の著作権保護情報記録領域の規定を追加する。		ISO/IEC 30191:2015, Information technology – Digitally recorded media for information interchange and storage – 120 mm Triple Layer (100.0 Gbytes single sided disk and 200.0 Gbytes double sided disk) and Quadruple Layer (128,0 Gbytes single sided disk) BD Recordable disk, Amendment 1:2019	IDT	第2条の該当号: 第1号、第4号(種類、形状、寸法、構造、品質、性能、試験方法) 対象事項: 120 mm 3層片面(100ギガバイト/ディスク)、3層両面(200ギガバイト/ディスク)及び4層片面(128ギガバイト/ディスク)BDレコーダブルディスク	法律の目的に適合している。	利点: ア、イ、ウ、オ、カ 欠点: いずれも該当しない。	2.消費者保護の観点から必要な分野)	—	一般財団法人光産業技術振興協会のWG	2021年1月
JSA	07 情報	改正	X6232	情報の交換及び蓄積用のデジタル記録媒体—120 mm 単層(25ギガバイト/ディスク)及び2層(50ギガバイト/ディスク)BD書換形ディスク	Information technology – Digitally recorded media for information interchange and storage – 120 mm Single Layer (25,0 Gbytes per disk) and Dual Layer (50,0 Gbytes per disk) BD Rewritable disk	【制定・改正する理由(必要性)】 この規格は、記録形BDディスクのうち、単層25GB及び2層50GBの追記形ディスクの機械的・物理的・光学的特性とともに、記録信号品質、データフォーマットと記録方法を規定したものであるが、Blu-ray Disc Association (BDA)において、4k/8k放送録画対応として記録形ディスクフォーマット仕様がアップデートされたため、対応国際規格の改訂作業がISO/IEC JTC 1/SC 23で進行中であり、2020年度第3四半期に発行予定である。このような状況から、対応国際規格との整合化を進めるとともに、技術の実態に即した内容にするため、JISを改正する必要がある。	【期待効果】 規格を改正することにより、既に始まっている4k/8k放送に対応したBDレコーダー・ディスクの普及拡大及び消費者保護に資することが期待できるとともに、日本発の技術である光ディスク分野における日本企業の国際競争力強化につながることを期待できる。	主な改正点は、次のとおり。 ・4k/8k映像記録の著作権保護情報記録領域の規定を追加する。		ISO/IEC 30192:2016, Information technology – Digitally recorded media for information interchange and storage – 120 mm Single Layer (25,0 Gbytes per disk) and Dual Layer (50,0 Gbytes per disk) BD Rewritable disk, Amendment 1:2019	IDT	第2条の該当号: 第1号、第4号(種類、形状、寸法、構造、品質、性能、試験方法) 対象事項: 120 mm 単層(25ギガバイト/ディスク)及び2層(50ギガバイト/ディスク)BD書換形ディスク	法律の目的に適合している。	利点: ア、イ、ウ、オ、カ 欠点: いずれも該当しない。	2.消費者保護の観点から必要な分野)	—	一般財団法人光産業技術振興協会のWG	2021年1月